



Title	ミシガン大学疫学サマーセッションに参加して
Author(s)	田中, 英夫
Citation	大阪公衆衛生. 1993, 64, p. 6-7
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/83822
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

研修報告

ミシガン大学疫学サマーセッションに参加して

大阪府岸和田保健所保健予防課長

田 中 英 夫

はじめに

平成5年7月12日～30日の3週間、アメリカミシガン州Ann Arbor 市にあるミシガン大学公衆衛生大学院（School of Public Health、以下SPH）において、第28回疫学サマーセッションが開催され、これに参加する機会を得た。初めての海外研修で、大変貴重な経験となった。

セッションの概要

このセッションは、ミシガン大SPHの正規の授業で、参加者は、①同学部の学生、または米国内の他の大学のSPHの学生で、単位取得目的の者、②単位を取得しない私のような聴講生、に分かれる。クラスは、疫学や医療統計学の基礎的なものから、がん、循環器疾患、エイズ、保健医療政策、母子保健、多変量解析法といった、Advanced Courseまで約20種類用意されており、各クラスの講師陣は、全米から選りすぐった専門家達で構成されていた。私は自分の関心から、がん疫学、性行為感染症とエイズ、加齢の疫学、環境アセスメントの4つを選択し、授業料は全部で1,250\$だった。

参加者は全体で約300人で、アメリカ人が200人、外国人が100人で、日本人は意外に少なく、私を入れて4人であった。1クラスは10～30人と小規模で、女性の参加者が3～4割と多く感じられた。参加者の職業的背景は、

SPHの学生の他は、臨床医、薬剤師、獣医師、看護婦、保健行政官、数理統計専門家、大学の社会医学系研究者など様々だった。

私の1週間

ここで私が経験したサマーセッションの中の1週間を紹介する。

月曜日：7時に大学寮で起床。8時までに寮の食堂で朝食（5\$）。8時半～12時、午前の講義。寮での昼食（8\$）をはさんで、1時半～5時、午後の講義。午後6時～8時、下町に買い物に行く（クラスメートと行くことが多い）。9時～11時、部屋で宿題をする（宿題が多いのがここの特徴）。

火曜日：6時50分起床。7時～7時半、仲良くなったメキシコ人とブラジル人の3人で、大学の屋内プールで泳ぐ。正午まで講義がないので昨日の宿題の残りを片づける。昼食をはさんで午後の講義。5時半～7時、寮内でセッション参加者のための立食パーティー。その後 Ann Arbor 市内を散歩。11時、就寝。

水曜日：午後の講義が終わるまでは月曜日と同じ。午後7時～8時半、大講堂で特別講義。1週目はアメリカの結核対策、2週目は便潜血検査による大腸がん検診の有効性に関するコホート調査、3週目は心疾患とエストロジェンについて、いずれも学外の著名研究者を呼んでの Lecture。午後9時～11時、部屋で宿題に取り組む。

木曜日：午後の講義が終わるまでは火曜日と同じ。下町で夕食後、部屋で自習。

金曜日：午後の講義が終わるまでは月、水曜日と同じ。講義終了後、下町のパブにクラスメートとくり出す。最も解放される時間。Ann Arbor市は人口12万人で、その内の5割は大学関係者で占められており、治安はすこぶる良好。

土曜日：土曜は講義はなし。午前中は部屋で自習。午後2時から寮の裏のグラウンドでバレーボール大会。私のチームは、ノルウェー、カナダ、ブラジル、シンガポール、アメリカ人で構成された、“ドリームチーム”（勝敗結果は割愛）。その後、夜は参加者らのバーベキューパーティー。

日曜日：産業医大公衆衛生の岡崎先生と2人で、Ann Arbor市から車で1時間のところにあるデトロイト市を観光。治安の悪さは以前から聞いていたが、私の印象では、やはり「巨大なゴースタウン」。しかしながら、全米屈指の規模を誇るデトロイト美術館の、ヨーロッパ絵画をはじめとしたコレクションは、質・量とも圧巻。来た甲斐があった。

雑 感

①サマーセッションはミシガン大の正規の授業でありながら、講師陣も学生も全米から来ている。すなわち学生は、他大学の優秀な講師の講義を聴き、単位を取得することが出来るのである。このことは大学教育の質の向上に大きく寄与するものと思われる。学生は、「どこで学んだか」ではなく、「何を学んだか」が重要である。

②どのクラスでも学生は、最終講義の後にマークシート方式による講師の採点を行う。例えば「講座の目的が明確に示されていたか」、「講師は学生の質問に対し、誠実かつ的確に答えたか」、「使われた教材は、内容の理解を深めるのに役立ったか」等々、20項目の質問に対し、学生たちが5段階で評価し、その結果が来年の講師招聘に反映される。ミシガン大のセッションが長年にわたって、内外で高い評価を受けている理由の1つと考えられた。このような、教える側が評価を受ける試みは、保健所が行う健康教育にも導入していきたい。



ミシガン大学公衆衛生大学院

③公衆衛生に従事する医師の卒業研修の充実を図ることは、住民のニーズが多様化し、保健所の役割が見直されている今日、極めて重要な課題である。定年近くになってから物見遊山の海外視察に出かけても、何の意味もない。卒後5～10年目ぐらいの時期に、異文化に触れながら公衆衛生学の体系的な教育を受ける機会が、1人でも多くの同僚に与えられることを切望する。